

2018年度 日本演劇学会全国大会(韓国演劇学会共催)タイムテーブル

6月29日(金)受付:12:30 ~ 12号館ロビー

	1221 教室	
13:00 - 13:20	開会の辞 韓国演劇学会会長挨拶：李応寿（世宗大学） 日本演劇学会会長挨拶：永田靖（大阪大学）	
13:20 - 13:30	移動	
	1221 教室 セクションA：近代演劇 司会：章惠典（水原大学）（通訳：李洪伊）	1232 教室 セクションB：演劇理論 司会：沈貞順（崇實大学）
13:30 - 14:00	芸術座の朝鮮巡業と演劇<復活>上演 発表：李相雨（高麗大学） / 質疑：鄭秀眞（高麗大学）	【英語発表】 From Modern Drama of Enlightenment to Postmodern Drama of Sublimity. 発表：黃焄性（東国大学） / 質疑：柘井智英（神戸松蔭女子学院大学）
14:00 - 14:30	舞台美術からみた韓国近代演劇の様式の課題 発表：李旼映（松山大学） / 質疑：李応寿（世宗大学）	【英語発表】 Transcultural Phenomenon of “Crisis of Masculinity” in Anthony Shaffer’s and Harold Pinter’s Sleuth. 発表：鄭文玲（啓明大学） / 質疑：日高真帆（京都女子大学）
14:30 - 15:00	植民地移住現象と近代演劇：近代初期の日本人・朝鮮人の漢城移住現象と韓国の近代劇場文化の形成 発表：白斗山（聖公會大学） / 質疑：洪善英（国際日本文化研究センター）	戦後初期日本演劇作品に描かれた〈朝鮮人〉 発表：岡本昌己（西江大学） / 質疑：金春熙（ソウル大学）
15:00 - 15:30	休憩（移動）	
	1221 教室 セクションC：演劇美学 司会：金昌華（祥明大学）（通訳：李星坤）	1232 教室 セクションD：その他 司会：李惠貞（中央大学）（通訳：南聲鎬）
15:30 - 16:00	韓国文化現象において演劇と観客の力学的関係に関する考察 発表：金壽美（東国大学） / 質疑：安長桓（劇団新協）	地域文化の受容と地域劇団の脱地域化——カンジンマン（康津灣）演劇団の事例を中心に 発表：金美姫（韓国芸術総合学校） / 質疑：成蒼雄（演出家）
16:00 - 16:30	伝統演劇の現代的な呼吸 発表：章惠典（水原大学） / 質疑：金孝（聖潔大学）	意図された「亡命」と「歓待」の空間——崔仁勳話素材戯曲を中心に 発表：鄭秀眞（高麗大学） / 質疑：黃石珠（漢陽大学）
16:30 - 17:00	多言語演劇の美学と韓国演劇の舞台化戦略研究 発表：全英芝（韓国芸術総合学校） / 質疑：李洪伊（翻訳家）	日本近代雅楽改革と雅楽局の設立 発表：南聲鎬（韓国芸術総合学校） / 質疑：高永珍（同志社大学）
17:00 - 17:10	移動	
	1221 教室	
17:10 - 18:00	総合討論 司会：金龍壽（西江大学） 通訳：南聲鎬	

6月30日 受付:10:00~ 2号館入り口

	213大教室			
10:30 - 12:00	<p>趣旨説明：柘井智英（神戸松蔭女子学院大学） 日本演劇学会会長挨拶：永田靖（大阪大学） 韓国演劇学会会長挨拶：李応寿（世宗大学）</p> <p>基調講演① 宋承桓（誠信女子大学校融合文化芸術大学） ストーリー・テリング（Story Telling）と平昌冬季オリンピック開幕式 翻訳：田光子（北翔大学） 通訳：金裕彬（大阪大学院生）</p>			
12:00 - 13:00	昼食			
	724教室	722教室 司会：平川大作（大手前大学）	721教室司会：川崎賢子（立教大学）	725教室 韓国演劇学会日本語セッション 司会：市川明（大阪大学）
13:00 - 13:40	<p>パネル① 文化を問い直す演劇</p> <p>平田栄一郎（慶應義塾大学） 針貝真理子（慶應義塾大学） 三宅舞（慶應義塾大学） 石見舟（慶應義塾大学院生） 宮下寛司（慶應義塾大学院生）</p>	<p>マルティン・ブーバーとハビマ劇場 ——ヘブライ語演劇へのヴィジョン 村井華代（共立女子大学）</p>	<p>ミュージカル『マリー・アントワネット』における分身 ——マリーとマルグリットの関係性 松尾ひかり（明治大学院生）</p>	<p>同時代在日コリアン劇団研究 李星坤（韓国芸術総合学校）</p>
13:40 - 14:20		<p>祖国復帰後10年(1972-1982)の沖縄の文化現象と舞台芸術（伝統芸能と現代劇） 与那覇晶子（沖縄大学地域研究所）</p>	<p>「改ざん」を越えて ——宝塚歌劇とアダプテーション 藤原麻優子（早稲田大学演劇博物館）</p>	<p><God Bless Baseball>のアレゴリー研究 李洪伊（翻訳家）</p>
14:20 - 15:00		<p>ベリナ・ハス・ヒューストンの戯曲にみる多文化多人種の象徴としての「茶」の役割 古木圭子（京都学園大学）</p>	<p>ハイ・アートとマス・カルチャーのはざままで：日本のミュージカル再考 日比野啓（成蹊大学）</p>	<p>京城における日本的演劇空間とローカルの交錯 洪善英（国際日本文化研究センター）</p>
15:00 - 15:15	移動			
	213大教室			
15:15 - 16:15	<p>基調講演② 毛利嘉孝（東京藝術大学） こんにちはの「大衆」とは何か？ 水族館劇場のテント芝居を手がかりに</p>			
16:20 - 17:50	<p>ラウンド・テーブル 現代演劇におけるハイ・アート、大衆文化、サブ・カルチャーの境界線 司会：柘井智英（神戸松蔭女子学院大学） 井上優（明治大学） 横山太郎（跡見学園女子大学） 許順子（ソウル芸術大学） 毛利嘉孝（東京藝術大学） 通訳：李洪伊（翻訳家）</p>			
18:00 - 19:30	懇親会（マーガレット・ダイニング）			

7月1日 受付:9:30～ 7号館1階ロビー

	724教室	722教室 司会：平井愛子（京都造形芸術大学）	721教室 司会：林和利（名古屋女子大学）
10:00 - 10:40	パネル② 文化現象としての地域（素人）演劇の可能性 本橋哲也（東京経済大学） 五島朋子（鳥取大学） 鈴木理映子（編集者・ライター）	蜷川幸雄演出シェイクスピア喜劇 ——『間違いの喜劇』（2006年）を中心に 菊池あずさ（奈良大学）	新国劇『国定忠治』成立史：行友季風の位置付けの再検討を中心に 羽鳥隆英（新潟大学）
10:40 - 11:20		ネストロイの演技術と法領域の変動について 山崎明日香（日本大学）	能楽の大衆化 ——梅若流の活動を中心に 佐藤和道（学校法人名古屋学院名古屋中学・高等学校）
11:20 - 12:00		『テーバス・ランド（ <i>Tebas Land</i> ）』（セルヒオ・フランコ作）における神話との戯れ 仮屋浩子（明治大学）	大正期における「番外曲」研究とその展開 ——「謡曲」読解における新しい視点の登場 伊藤真紀（明治大学）
12:00 - 13:00	昼食・理事会		
	213大教室		
13:00 - 14:30	総会 河竹賞授賞式 河竹賞：山田和人 奨励賞：堀真理子 萩原健 受賞者の言葉		
14:30 - 14:45	休憩		
14:45 - 16:45	シンポジウム 日本伝統演劇と文化現象 司会：岩井眞實（名城大学） 武井協三（国文学研究資料館名誉教授） 高橋則子（国文学研究資料館） 中尾薫（大阪大学）		
16:45	閉会の辞		

神戸松蔭女子学院大学施設案内

